

第4次日高市男女共同参画プラン 施策体系に基づく実施内容 令和2年度における主な取組

①主な取組 No.1 男女共同参画に関する情報提供・啓発(総務課)

○男女共同参画情報紙「こらぼ」(Vol.5)発行

- ・令和3年3月に20,000部発行し、3月の区長文書にて全戸配布
- ・令和3年3月に策定した「第5次日高市男女共同参画プラン」の概要を掲載。

②主な取組 No.4男女共同参画週間における啓発(総務課)

No.14 男女共同参画に関する図書・資料の充実及び男女共同参画週間における関係図書の掲出

(総務課・図書館)

※令和2年度男女共同参画週間:6月23日(火)~29日(月)

○関連図書展示コーナーの設置(図書館内)

- ・図書展示コーナーの設置(6月23日(火)~29日(月))
- ・男性の家事・育児参画を応援する図書や、女性の活躍に関する図書、多様な性やジェンダーについての図書等を掲出した。
- ・入口付近のスペースに展示したことで、図書館を利用する市民の方の目に触れてもらう機会となった。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりパネル展は中止とした。



○ホリデーヤングシネマ・ビブリオトークの開催

- ・男女共同参画推進事業の一環として、映画の上映&ビブリオトークを図書館と共催で9月26日(土)に開催した。
- ・性や人種など、様々な面から多様性について考えるきっかけづくりとして企画。映画上映だけで終わらせず、関連図書の紹介をすることで、参加者が多様性について個々に理解を深めることができる機会とした。
- ・令和元年度までは金曜シネマ枠(毎月・金曜開催)で図書館と共催していたが、より若い世代への啓発を図る目的から週末に開催しているホリデーヤングシネマ枠での共催とした。



③主な取組 No.5人権強調月間に講座、講演会等を開催(総務課・生涯学習課)

○LGBT 研修会実施支援

- ・市内中学校2校が主催するLGBT講演会の実施支援を行い、生徒222名、教職員16名が受講した。
- ・講師の中島潤さんによる講演は、多様な性についてだけでなく「ふつう」とは何かを考える機会となり、「相手のふつうと自分のふつうが違っていい」「それぞれを受け入れていくことの大切さを考えることができた。」といった感想があり、生徒にも分かりやすく大変好評であった。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内中学校3校で実施予定のところ2校での実施となった。



④主な取組 No.16 子育てに関する相談体制の充実(子育て応援課)

○「地域子育て支援センター」の運営

- ・市内に4つの地域子育て支援センターを設置し、子育てに関する相談業務の充実を図った。また、**妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援**を行うため、子ども・子育て利用者支援専門員(1名)と保健相談センターの母子保健利用者支援専門員との連携を強化し、情報の共有を図った。
- ・家庭児童相談室においては、相談員が相談者へ専門的なアドバイスを行った。また、市内小中学校・学童保育室を訪問し、家庭児童相談室の情報提供や情報交換を行うことで、連携強化を図った。

⑤主な取組 No.34 再就職セミナーの開催(総務課)

○在宅ワーカー育成セミナー入門コースの開催

- ・飯能市と共催で、**女性のための在宅ワーカー育成セミナー**(10月29日)を開催し、27人(定員40名)が受講した。
- ・「在宅ワークを知りたい方のための1日講座」として、在宅ワークとは何か、始める際に必要なもの、必要なスキル、企業は何を求めているのか、月収・仕事の探し方、トラブルシューティング など、在宅ワークを始めるための基礎知識や心構えを習得する講座とした。
- ・在宅ワーカーの仕事現場を紹介する動画、先輩在宅ワーカーへの質疑応答などもあり、参加者は在宅ワークを具体的にイメージすることができた。
- ・別室での見守り保育付きのセミナーとしたことで、受講者が集中しつつ安心して参加できるよう工夫した。



⑧主な取組 No.45 広報ひだか、ホームページ及びチラシ等による情報提供、啓発(総務課)

○女性に対する暴力をなくす運動週間における啓発

- ・11月の「女性に対する暴力をなくす運動週間」に合わせてDVに関する記事を広報ひだかに掲載し、DVに関する情報の啓発を実施した。

○パープルリボンキャンペーン

- ・DV防止の啓発のため、県のパープルリボンキャンペーンに参加し、8月14日～31日に日高市役所ロビーにパープルリボンタペストリーを展示した。



○その他の啓発

- ・成人式出席者へデートDV啓発カードを配布し、デートDVの未然防止の啓発を行った。